

## ソーレまつり 2024 記念講演会

### 女性と地球にスマイルを～共に創る社会をめざして～



日 時： 令和 6 年1月 28 日(日) 14:00～15:30

講師：山田メユミさん

(株式会社アイスタイル取締役 共同創業者、一般社団法人バンクフォースマイルズ代表理事)

#### 《講師プロフィール》

1995 年東京理科大学卒。2018 年東大 EMP 修了。

化粧品メーカー在職中に趣味で始めたメルマガへの反響をもとに、コスメ情報サイト『@cosme』を企画立案し、1999 年にアイスタイルを共同創業。

現在も取締役を務めるほか、セイノーホールディングス、SOMPO ホールディングス、セブン&アイ・ホールディングス社外取締役や学校理事等を兼任。2021 年、有志とともに一般社団法人バンク・フォー・スマイルズを立ち上げ、困難を抱える女性世帯に化粧品業界にある行き先のないコスメを詰め合わせてお届けするコスメバンクプロジェクトを始動。



美容総合サイト@cosme(アットコスメ)の共同創業者である、講師の山田メユミさんに、

「女性と地球にスマイルを」を合言葉に「コスメバンクプロジェクト」を立ち上げた思いや、

日本社会のこれからのあり方についてお話しいただきました。

#### 化粧品の魅力、そして課題

アットコスメでは、生活者中心の市場を創造しようというビジョンをもって取り組んできました。

私にとっての化粧品は、人々の生活や社会でのコミュニケーションにおいて必要不可欠なプロダクトです。また、自己表現や自己肯定のためのツールでもあります。さらには、ストレス解消の助けや自分へのご褒美にもなり、さまざまなライフシーン、ステージに深く関与し、女性(人々)をエンパワーするのが化粧品の魅力だと思っています。

その一方、化粧品は化学合成品であり、また容器包材も含めてのブランド価値でもあるため、リサイクルがなかなか難しい状況があります。

## 社会の『ない』と産業界の『ある』をつなぐ

そうした課題に企業の枠を超えて協働で取り組んでいるのがコスメバンクプロジェクトです。

きっかけは「子どもの卒業式なのに口紅ひとつなく、マスクで顔を隠して参列した」という、あるひとり親のお母さんの悲しい言葉でした。化粧品がないことによって悲しい気持ちになってしまわれる方がいるということに衝撃を受けると同時に、想いを込めて作られた商品が誰の手にも届かずに、最終的には環境を汚してしまうかもしれないと感じていた中で、必要としている方に、こういった余剰在庫をつなげない理由はないと考えたのが原点です。

化粧品企業に相談したところ、思った以上に各社が積極的で、企業の皆さんからは余剰商品や運営資金のご寄付をいただきながら、また、全国の婦人保護施設やフードバンク等支援団体とも連携をして、現在は必要とされている方々、約3万世帯にお届けすることができています。

余剰商品というとネガティブなイメージをもたれる方がいるかもしれませんが、一人ひとりに向けた「ギフト」として喜んでいただけることを願いながら、業界の皆さんに梱包にも参加いただくなど、総力をあげてお手伝いいただきお届けしています。

## 共に創る社会を目指して

私たちが「女性と」を枕詞にして活動している理由は、現実問題として母子世帯と父子世帯で年収に大きな差があり、母子世帯を中心に支援を考えているためです。ギフトを届けている世帯の年収は200万円未満が7割と、かなり厳しい状況にあることが分かっています。

受け取った女性たちからは「自分のケアもしていいんだ」「子どもとの会話の時間が増えた」といったうれしいお声を多くいただきます。届いた声は企業にもお伝えし、息長くこの活動が続けられるようにしたいと思っています。また、自治体との連携もより強化したいと考えていて、ギフトのお渡しやメイクアップ講座の開催等を通じて自治体とシングルマザーとの接点創出につなげる活動を積極的に広げていきたいと考えています。

不安定なことが多く、見通しも持ちにくい時代です。だからこそ、思考を止めることなく、柔軟かつ前向きに、日々できる最善を尽くしていくことが大切と思っています。

「笑顔の多い人は幸福度が高い」のだそうです。ならば「笑顔の多い集団が社会を幸せにできる」のではないかと、それを胸に多くの同志と活動していきたいと考え思っています。